

## 『原爆文学研究』投稿規定

- 一、原爆文学研究会の機関誌として会員からの意欲的な投稿を歓迎します。なお、会員以外の原稿掲載については研究会事務局で判断します。
- 二、投稿に際しては、住所・電話番号を明記の上お送り下さい。原稿は返却いたしませんので、お手元に控えをお残し下さい。
- 三、パソコン等を使用の場合はプリントアウト原稿にデータファイルを添付の上お送り下さい。
- 四、原稿は、新字のあるものなるべく新字を用い、注の形式等は既刊のものに準拠してください。
- 五、投稿者は各自の原稿一頁（機関誌の書式）につき一〇〇〇円を発行経費として負担することをご了承ください。
- 六、次号（12号）の締切は、二〇一三年十月末日です。

## 編集後記

第11号をお届けします。今号は九本の論文、二本の証言、一本の書評、五本のエッセイを掲載しております。「証言」という項目は、このたび新たに加えたものですが、本研究会から発信する情報の幅がまた一つ広がったことを嬉しく思っております。特集「北米文学における核の表象について」は、第三九回研究会の二日目（二〇一二年七月八日）に開催した同名のワーク・ショップに基づくものですが、11号の発行までに時間的余裕がない中、各執筆者にご尽力いただいて何とか掲載することができました。本研究会にも英米文学を研究している会員が増えてきたことを受けて実施した企画と特集ですが、これもまた本研究会から発信する情報の幅を広げるものとして嬉しく思っています。会員外からは、Michael Gorman氏、中村泰氏、近藤ベネディクト氏、西亮太氏、越水治氏にそれぞれご寄稿いただきました。ありがとうございます。

今年も本研究会会員による書籍が刊行されましたので紹介します。二月には石川巧氏による著書『高度経済成長期の文学』がひつじ書房より刊行されました。六月には山本昭宏氏による著書『核エネルギー言説の戦後史1945-1960―「被爆の記憶」と「原子力の夢」が人文書院より刊行されました。ぜひ、ご一読ください。

読者の皆さまからのご意見、ご感想などお待ちしております。

(N)

## 原爆文学研究

11

二〇一二年二月三日発行

## 編集 原爆文学研究会

八四〇〇六〇

福岡市城南区七隈八一一九一

福岡大学人文学部

中野和典研究室気付

## 発行

(有)花書院

八〇〇〇三三

福岡市中央区白金二一九一六

TEL 〇三三・五三〇六七

FAX 〇三三・五三〇四二

定価 一、二〇〇円(本体一、一四三円)

◇書店にない場合は「地方小出版流通センター扱い」とご指定の上、書店にご注文下さい。

◇継続購読は、花書院「原爆文学研究係」にお申し込み下さい。送料は無料となります。